

News Letter

2018年
7月
中国四国農政局
徳島県拠点

ドローン（マルチローター）活用で、現場のサポート

現在、日本の農業は、農業従事者の高齢化、労働力不足などで耕作されなくなる農地が増え、深刻な問題となっています。

課題の一つの農作業の負担を軽減するため、ICT（情報通信技術）やロボットなどの先端技術を活用する「スマート農業」が期待されています。

徳島市にある三協商事株式会社では、農薬・肥料・農業資材等の販売部門があり、平成29年7月よりドローン（マルチローター）による農薬散布の事業を行っています。

無人ヘリコプターとドローンで農薬散布した場合を比較調査し、多くの利点があるドローンの事業を開始しました。

現在、県内の農協へ依頼し受注のあった、水稻、レンコンの圃場へ農薬散布を行っており、昨年は、水稻約20haの面積に散布を行ったそうです。



（飛行中のドローン）



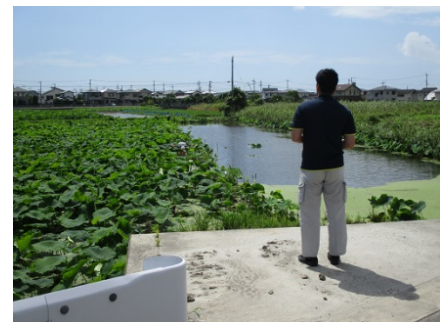
（上：ドローンに散布用の農薬を載せる様子）
（下：レンコンの圃場で農薬散布中の様子）

散布時は、オペレーターとナビゲーターの2名体制により、安全かつ短時間で散布作業を行っています。

ドローン使用の特徴は、小回りが効き飛行が安定、風圧と騒音が少ない、短時間での適正な農薬散布、他の圃場へのドリフト（飛散）が少ないことで、大幅な作業負担の軽減に繋がります。

しかしながら、薬剤が5リッターしか積めずバッテリーは長時間もたない、雨や風速の強い日は散布が出来ない、空中散布用に登録されている薬剤が少ないなどの課題もあるそうです。

今後は、1年間のドローンの稼働期間を増やし、作業労力の省力化・効率化に繋がるサポートを目指されているそうです。



（ドローン操作中のオペレーター）

【三協商事株式会社ホームページ】

https://www.sankyosyoji.com/business/fs_dacs_drone.html

ディスカバー農山漁村（むら）の宝（第5回）の募集



「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」とは、自立した「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。

選定の対象となる取組

地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用により、農林水産業・地域の活力創造につながる下記のいずれかに該当する取組です。

- 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- 幅広い分野・地域との連携による農林水産業や農山漁村の再生
- 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

応募期間

平成30年6月1日(金)から平成30年8月13日(月)まで、
自薦・他薦は問いませんので、ふるって応募ください。

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.discovermuranotakara.go.jp/>

「牛乳が好き。」MILK・JAPAN中国四国フォトコンテスト2018の作品の募集



牛乳、乳製品の消費拡大の一環として、「牛乳が好き。」MILK・JAPAN中国四国フォトコンテストを実施します。

牛乳を飲む、乳製品を食べる、あるいは乳牛とのふれあうなどのテーマに沿った作品の応募をお待ちしております。

募集期間は、平成30年9月30日(当日消印有効)となっております。

詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/chushi/press/se_chikusan/180615.html

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL (088)622-6131(内線214) FAX(088)626-2091 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>